

4. 設置

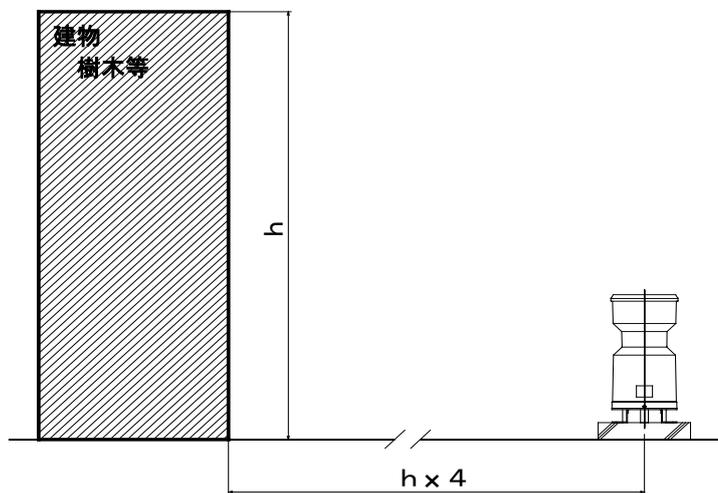
4.1 設置場所の選定

雨量の観測は風等の周囲環境、たとえば設置場所付近にある障害物によって、風が吹き上がったたり吹き抜けたりして、雨滴が雨量計の受水口から外れてしまうため降水捕捉に大きく影響します。地上気象観測指針(2002年 気象庁刊)では、降水捕捉を妨げる環境的な要因を避けるよう幾つかの観測条件が指定されています。

本雨量計の設置にあたって、できるだけ正確に雨量観測を行うために下記事項を推奨します。

- ① 付近に降雨状態を乱すような障害物のない場所を選ぶ。付近に建物や樹木・他の測器がある場合には、それらからなるべく離れた場所を選び、障害物の高さの4倍以上離すことが望ましい。(図4.1-1)

図4.1-1



- ② 設置場所が平坦で、気流ができるだけ水平になるような場所を選び、くぼんだり、高くなっている所や傾斜地は避ける。
- ③ 風が吹き上げる所や、吹きだまる場所などは避ける。やむをえずビルの屋上などに設置する場合などは、壁面から吹き上げる風の影響を避けて中央部分(四方から10m以上内側)に設置することが望ましい。(図4.1-2)
- ④ 設置場所がコンクリートやアスファルト等で舗装してある場合は、強い雨の際に設置面からの跳ね返りが入らないように、約1m四方位に人工芝などを敷くと良い。(図4.1-2)

図4.1-2

